

令和5年度 第3回 高萩地区学校運営協議会会議録

日時	令和5年11月15日（水）
場所	高萩中学校
出席者	石田則雄 鴨下吉彦 岡野一平 田中和香子 市川徹 北野哲 谷本和歌子 井上雄太 河村康郎 小坂井指導幹
欠席者	塩川忠 宮崎千恵子 梶野義明
協議事項及び決定事項	（１）学校評価の項目について （２）令和6年度当初人事について （３）地域学校協働本部について （４）その他
会議の経過	1 挨拶 ・日高市教育委員会 今年度より義務教育学校として開校した武蔵台小中学校に多くの視察が来ている。 高萩地区の良さを生かしてもらいたい。 ・石田会長 高萩地区の良さを生かしていきたい。 2 協議等 （１）学校評価の項目について ○小中より 評価項目を小中でそろえてある。 ○積極的に家庭学習に取り組むとはどういう状況か。具体的にどのくらいをもって取り組んだことになるのか。基準があると分かりやすい。先生方の意識はどう変わっているのか。 →家庭学習として課していること…中学校 ノート1～2ページ …小学校 学年×10分間 →今後、発達段階に合わせて、レベルアップした内容の家庭学習に取り組ませるとよいのではないか。また、主体的に取り組んでもらうようになってもらいたい。 ○中学校の評価指標の中に、「生徒は」となっているものがある。学校評価は、学校を評価するのか。生徒を評価するのか。主語が何になるのか。また、1つの評価指標の中に、指標が2つある質問がある。 →「生徒は」となっているものは「学校は」に変更し、内容は大きく変えずに、学校を評価する質問にしていく。 （２）令和6年度当初人事について ○小学校より 特別支援学級の学級数については、変更の可能性もある。学力向上が課題。学級閉鎖中もリモート授業を実施している。 ○中学校より 特別支援学級の学級数については、変更の可能性もある。高萩中ユリイカが開室している。学力向上が課題。 ○小学校について、校庭の使用について、中学校の校庭は使用できないのか。

	→授業では使用していないが、休み時間やクラブ活動、クラスレク等で使用している。 ○日高市として小中一貫教育を推進しているが、実際に先生方が行き来しやすくなっているのか。 →現在、教員不足により、十分な加配を置くことができていない状況である。加配を置くことにより、様々な小中一貫教育が可能になるが、今現在は厳しい状況にある。兼務発令を行い、中学校職員が小学校で授業を行うことは可能であるが、小学校職員が中学校で授業はできない。 ○高萩中ユリイカの利用状況はどうか。 →現在、2名の生徒が正式に手続きを行い利用している。他校からも利用可能である。先日、小学生が1名見学に来た。学校内にあることにより、担任や相談室との連携が取りやすく、仲の良い友人とも顔を合わせることも可能である。もし、高萩中の生徒が学校内での利用が難しい場合は、日高市教育センター内にあるユリイカを利用する。 (3) 地域学校協働本部について ○小学校では、野菜作りなどの協力が10年以上続いている。 ○囲碁・将棋クラブで指導している方の高齢による後継者について、将棋の後継者は見つかったが、囲碁の後継者が見つかっていない。 ○中学校について、職場体験の職場リストがほしい。体験場所が足りなければ協力する。 ○中学校での除草作業を行った。 (4) その他 ○12月8日(金)、高萩中学校で公開授業があります。 ○中学校の合唱祭、インフルエンザの影響により、延期や学年開催等になったが、とても感動しました。 3 連絡 次回協議会 1月23日(火) 会場：高萩小学校 14:30～ 学校評価システムシートの学校運営協議会委員の評価を記入してお持ち下さい。
--	--